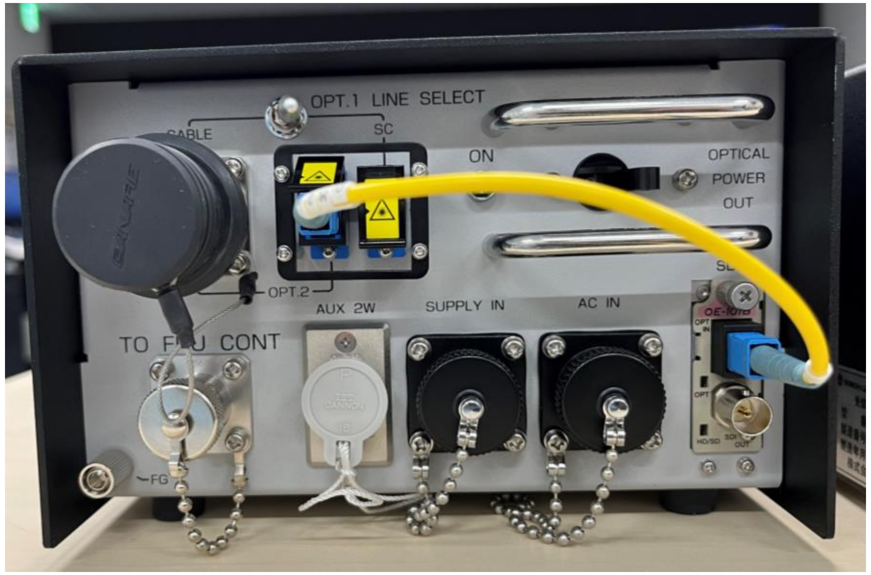
# 精工技研光端末入荷

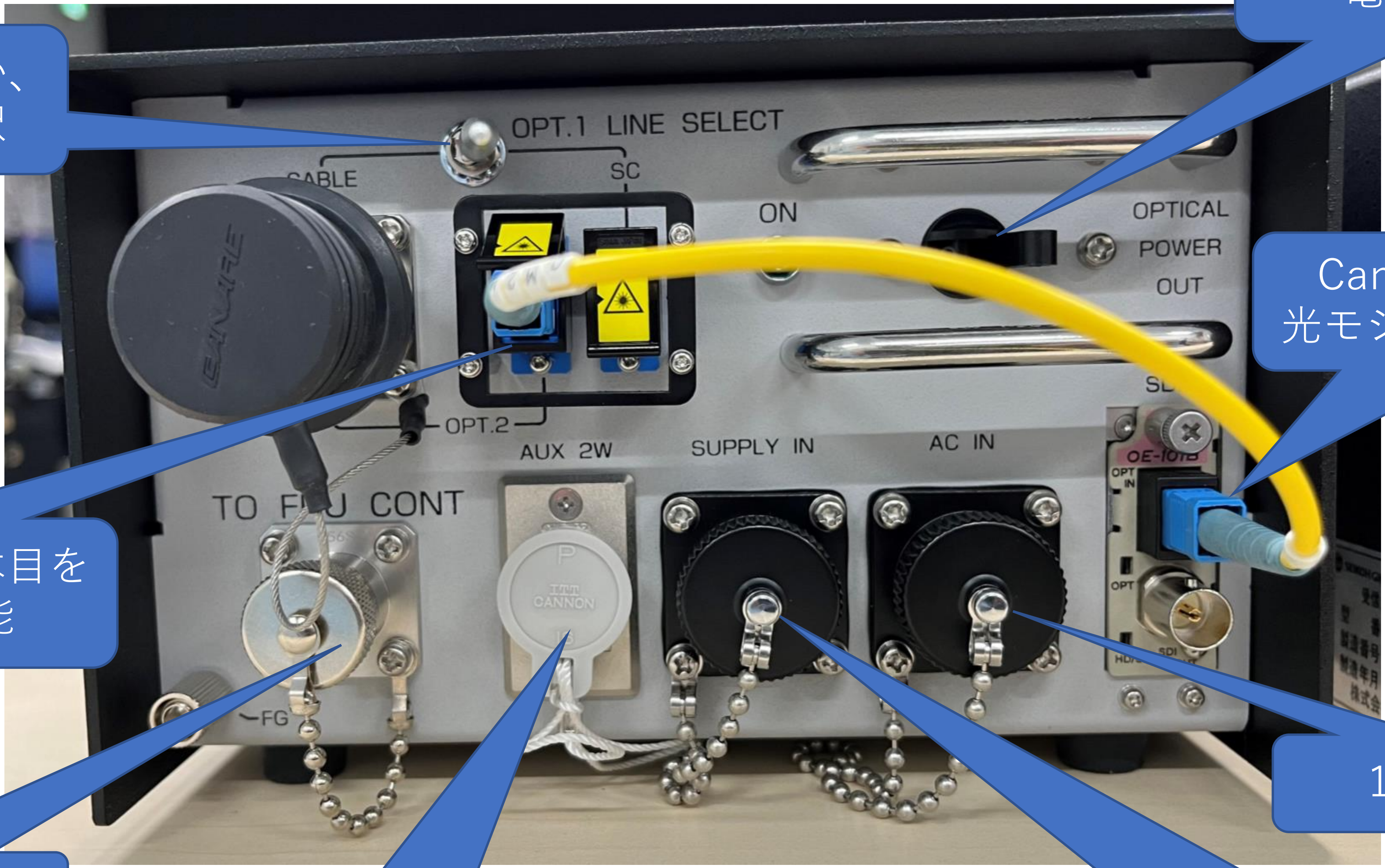
- ツインA,Bの光端末の老朽更新　1台予備 中継にも使用可
- SCケーブルまたは多治見カメラケーブルに対応
- 多治見Cでは電源多重も可能。
- カメラの2本目のファイバーで光モジュール実装も可能
- HEAD用端末に多治見Cで電源供給可能
- 光-10dB程度まで実用可能　10km程度か



# CONT側端末

カメラケーブルか、
SM-SCかを選択

カメラケーブルへの
電源供給SW




Canare、精工技研の
光モジュールを実装可能

カメラケーブルの2本目を
別用途で利用可能

100V入力

FPURX-CONT

カメラケーブル時、
メタル2W使用可能

カメラケーブルへの電源供給、
光端末とHEAD
100v～200v(長さによる)

# HEAD側端末

電源をカメラケーブルか、AC100Vかを選択

カメラケーブルか、SM-SCかを選択

カメラケーブルからの電源の外部出力

Canare、精工技研の光モジュールを実装可能

カメラケーブルの2本目を別用途で利用可能

100V入力

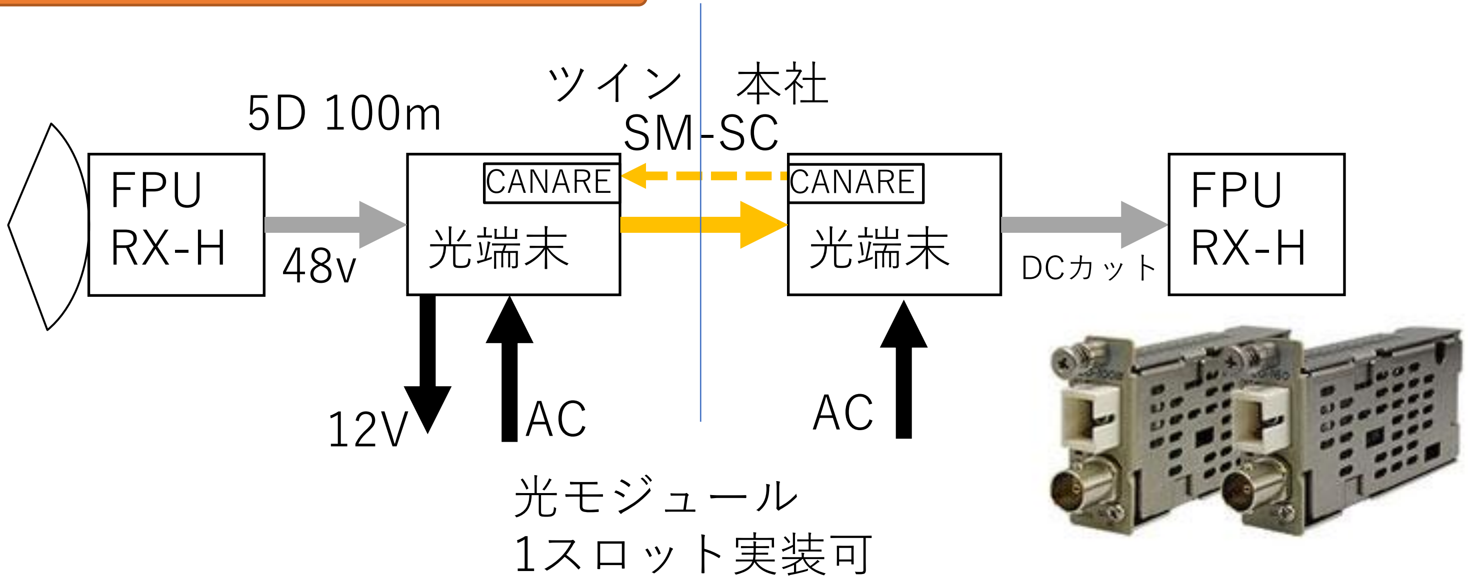
FPURX-HEAD

短IFケーブル使用時に-6dB

12V1A モニターなどに利用可能

カメラケーブル時、メタル2W使用可能

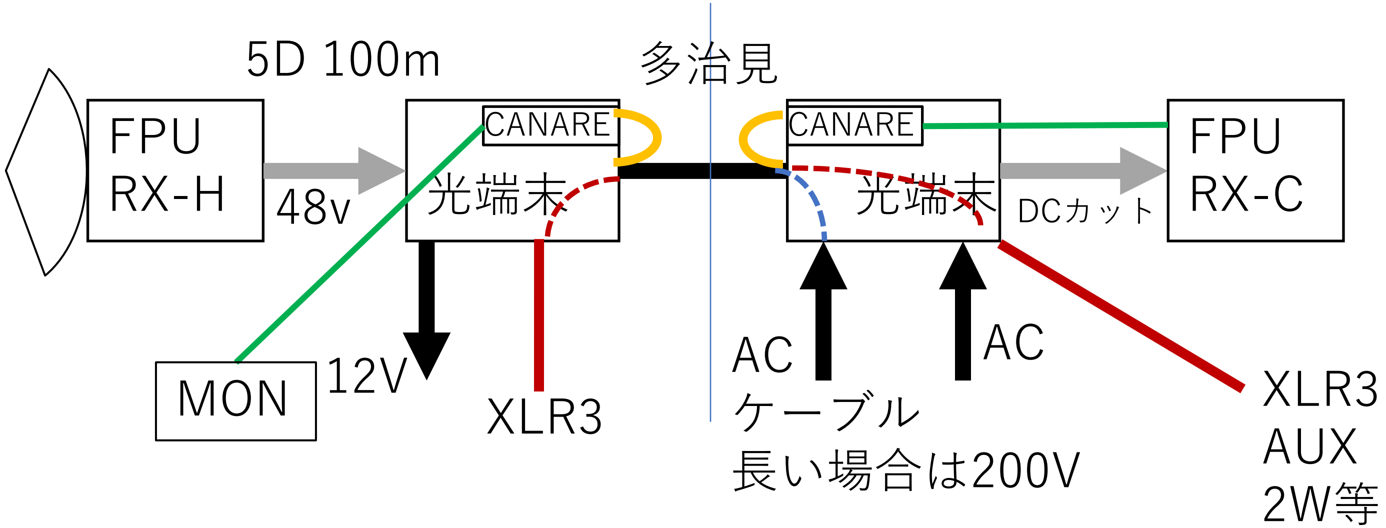
# 基地局スタイル




光ファイバー(SM-SC)1本でIF伝送と
H-C間の制御監視ができる

カナレや精工技研の
光モジュール用スロットを装備

# 中継スタイル




多治見カメラケーブルの光1芯を使用
もう1芯は別の用途に利用可能
(canareOE等で受信点でProfとか)
電源を重畳可能
400m程度であれば100v
それ以上では200vに昇圧して利用

XLR3　AUX端子あり

※SM-SC
シングルモードファイバー　SCコネクタ付き